様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　５ 年　６ 月 １６ 日現在

機関番号：１３９０１
研究種目：基盤研究(B)（特設分野研究）
研究期間：2019～2022
課題番号：１９ＫＴ０００２

研究課題名（和文）言説を動かす情動とファシズムの変貌：テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析

研究課題名（英文）Emotions Driving Discourse and the Transformation of Fascism: Text Mining Analysis of German, Italian, French, and Japanese Sources

研究代表者
中村　靖子（Nakamura, Yasuko）

名古屋大学・人文学研究科・教授

研究者番号：７０２６２４８３

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　14,100,000円

研究成果の概要（和文）：ファシズム思想が精神主義的な傾向を帯び、それゆえ文化運動と共に展開したことに鑑み、本研究はスイス、イタリア、フランス、日本における20世紀初頭の文化運動に着目し、オラリティを介して集合的記憶の形成される過程を辿った。そのために独伊仏日語のオラリティ資料をテキストマイニング手法により比較解析し、人間の社会に情動が広範なムーヴメントを創り出すメカニズムを考察した。そのために文字資料のみならず、ファシズム期の演説や式典、公共芸術や文化遺産保護をめぐる言説、文芸誌の検閲や国策映画の制作過程など、各言語の文字テキストや公共空間における造形芸術を対象として、超言語圏的に同時代の言説の動きを追跡した。

研究成果の学術的意義や社会的意義
本研究は、言語を異にする文化圏を超域的に横断し、それぞれの地域・文化内部でどのようにファシズム思想が醸成され展開していったかを、各言語圏の文字テキストやオラリティ資料を分析し統合的に検討した。これまで、研究者自身がフィールドとする文化圏や言語圏が制約となることが多かったが、こうした超域的な議論の場を共有し、考察したことは非常に重要な意義をもつ。これまでの成果を踏まえ、ファシズム研究をアナキズム思想という視座から論じることが有効であると考え、アナキズム研究者らと共に「21世紀の映画と社会」と題したワークショップを企画・実現した。この成果発信は「オラリティと社会」という観点からも極めて有効だった。

研究成果の概要（英文）：Considering that fascist ideology had spiritualist tendencies and therefore developed along with cultural movements, this study focused on the cultural movements of the early 20th century in Switzerland, Italy, France, and Japan, and traced the process by which collective memory was formed through orality. For this purpose, we used text mining techniques to compare and analyze orality materials in German, Italian, French, and Japanese, and examined the mechanisms by which emotions create broad movements in human beings' societies. To this end, we traced the movements of contemporaneous discourse in a supra-linguistic manner not only through textual materials but also through textual texts in each language and the plastic arts in public spaces, including speeches and ceremonies during the fascist period, discourses on public art and cultural heritage protection, censorship of literary magazines, and the production process of state-sponsored films.

研究分野：思想史・ドイツ文学

キーワード：ファシズム　テキストマイニング　大統領演説の検証　文芸誌の検閲　芸術運動　国策映画

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９（共通）

１．研究開始当初の背景

「感情政治」6 はナチスのプロパガンダを嚆矢とするが、そもそも啓蒙主義以来、共感は市民教育の鍵語となり、劇場やベストセラー小説をとおし て広い射程を獲得してきた。また、プロパガンダという術語自体は第一次世界大戦直後には広く知られており、「教養の社会化」のためにラジオ放送が果たした役割は絶大だった。 ドイツにおけるナチス研究は枚挙に暇がないが、「隣国ドイツのナチス化」という脅威にさらされた近隣諸国が、ナチズムに対抗するために自らファシズム化していった状況下における人々の心性を、さまざまな文化運動のオラリティ資料から多角的に浮かび上がらせることが必要と考えるに至った。

２．研究の目的

近年、感情や記憶は社会的に構成されるものであり、文化・社会・時代に応じて異なるという考えがさまざまな領域で受容されつつある。今日、ともすれば扇情的なポピュリズムが横行するが、人々の不安や恐怖が制御を欠けば、危険な政治的情況を招きかねない。過去の記憶を継承することが重要であるのは言うまでもないが、問題は、その記憶が惹起する感情のあり方である。図 1 が示すように、トピックや情報量ではなく、感情を喚起する言葉の多さによって言説は拡散し広く共有される 11。世界の各地で文化的摩擦が激化しつつある中で、適切な歴史認識のみならず、社会的な感情をいかに構成し、文化的社会的歴史的な敷居を越えて共有するかが喫緊の課題となっている。本研究はこれらの問題を受け、多領域のオラリティ資料の解析に基づき、言説を動かす情動と社会の変化を浮かび上がらせることを目的とした。

３．研究の方法

本研究は、文字資料のみならず、ファシズム期の演説や式典、公共芸術や文化遺産保護をめぐる言説、文芸誌の検閲や国策映画の制作過程など、独伊仏日の言語テキストや公共空間における造形芸術を対象とする。その上で、特定の歴史的・外交的・政治的出来事をメルクマールとして、その前後における人々の心性を比較分析し、その変化と社会の動勢との相互作用をテキストマイニング手法(語句の頻度分析、関連分析、特徴分析、潜在的トピック分析、クラスター分析など)により多言語圏にまたがって共通する心性の動きを可視化する。それにより経時的かつ多角的な比較分析を行い、個別のテキスト分析からだけでは分からない人々の心性や時代性の変化を可視化する。言語圏ごとの変化の特徴と言語圏をまたがる共通項を抽出しつつ、時代の転換点を創り出す歴史的な出来事との相関性を考察する。具体的には以下のようになる。

1,　スイスにおける「自由」と「中立」概念の変成(中村・葉柳)　中村はスイスにおける自由と国民統合と いう理想の統一的実現形態 について各陣営の演説などを階層的クラスター分析やトピックモデルにより分析し、シラーをどのような文脈で利用したかを可視化する。さらに『スイスの中立 主義の歴史』25 を電子化し、「中立」概念の経時的な分析を行う。当該書籍は入手しているが、膨大な量であり、テキストの電子化とクリーニング作業(形態素解析等)のため RA を１名雇用した。また葉柳は、ナチス政権時代、スイスの大統領であったフィリップ・エターの演説をデジタル化し、エターの大統領就任以前、就任後、第二次世界大戦前夜、開戦後、終戦後に亘り、演説の変化を構造的トピックモデルにより経時的に明らかにし、分析した。

2,　イタリア・ファシズム期の公共芸術と言説(池野)　1920 年代イタリアはモニュメントブームが興り、殉教者の慰霊碑などが各地に建てられるが、池野は、こうした公共的空間に建 立されるモニュメントが人々の記憶の形成やファシズム体制の可視化にどう貢献したかを、同時期に推進された過去の文化遺産の保護とも関連付けて論じた。

3，ナチス占領下における文芸誌の検閲から見る思想統制(重見)　第二次世界大戦期のフランスで保守系新聞の『アクシオン・フランセーズ』から派生した極右の週刊新聞『ジュ・スィ・パルトゥ』の文芸欄「コズリィ・リテレール」全号分を取り上げて当時の思想統制について考察する。そのためパリ国立公文書館(パリ)、ピュイ=ドゥ=ドーム県公文書館(クレルモン=フェラン)で資料収集を行い、入手できたテキストを順次電子化した。

4,日独文化交流史におけるファシズムの浸透(山本・中川)　山本は、江戸川乱歩の作品が、大戦以前、大戦中、大戦後を経てどのように作風が変化したかをマイニングにより明らかにした。また中川は、1940 年に大政翼賛会文化部部長に 就任した岸田國士は、『力としての文化』(1943)において伝統的文化の保護、営利主義の追放のために国家統制を肯定していた。戦後、1946 年

11 月の文学雑誌『文学時評』で帝国主義者として厳しく批判されたことを機に、岸田に対する評価はいまだ揺れている。岸田自身のテキストをマイニングにより分析し、岸田を一つのケースとして全体主義に対する文化人の態度の変遷を辿った。

5,　テキストマイニングに関する技術指導(金)　金が開発した多言語テキストマイニング(MTMineR)のソフトをメンバーが実践するにあたり、個々の局面において生じる技術的困難の解決、新たな機能の追加など、テキストマイニングの方法とソフト開発及び技術指導技術的サポートをした。ソフト開発のための RA を 1 名、電子化作業のために 2 名雇用した。

6,　本研究への紛争研究の知見の応用と理論構築(大平)　大平は紛争に関する学際研究において、ある文化集団が、世代を経るに従って全体主義的・排外的な者に変貌していく現象を、ヒトという種が進化の過程で育んだ特性と、現在のヒトという主の脳機能の特性から検討してきた。これらをふまえ、本研究では情動と言語に関する心理学的構成主義を基盤とした立ち位置より、各時代、各地域におけるファシズム研究と照合し理論的構築を図る。

４．研究成果

本研究期間の間に、テキストマイニング講習会を合計 6 会開催し、特に人文系研究者にテキストマイニングに関するスキル向上に努めた。それらの成果の 1 つとして、金・中村共編著『文学と言語コーパスのマイニング』（岩波書店、2021 年）を出版した。また 2022 年度には、論集『予測と創発』（春風社、2022 年）を出版した。

本研究課題では、特に文字資料以外の資料による感情の誘発に着目した。その一環として、2023 年 2 月 18 日には、「人新世」におけるアートと題したワークショップを企画し、京都大学名誉教授の岡田温司先生を講師に迎えて「アントロポセンとアート」と題した講演会を一般公開の形で開催した。また、2023 年 3 月 20-21 日には、メンバーや研究協力者によりワークショップ「21 世紀における映画と社会」（長崎大学）を一般公開の形で開催した。映画クルー・空族の監督である富田克也氏、脚本を担当している相澤虎之助氏、それに加え、OneMekong クルーらを迎え、二日間にわたって映画「サウダーヂ」や「国道 20 号線」の上映のみならず、映画と物語、音楽との関わりなど縦横に講演してもらい、これを元に一般参加者をも交えて、21 世紀における映画と社会について活発に議論を交わした。

研究期間終了を迎えるにあたり、論集『予測と創発』の刊行を記念して、2023 年 3 月 29 日には論集刊行記念シンポジウムを名古屋大学にて開催し、広く一般に成果を発信した。

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計92件（うち査読付論文　78件／うち国際共著　8件／うちオープンアクセス　67件）

１．著者名 中村靖子	４．巻 5
２．論文標題 記憶が出現するときーーフロイトの思考と〈現実〉ーー	５．発行年 2022年
３．雑誌名 人文学研究論集	６．最初と最後の頁 29-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Imamura Chie、Sakakibara Kiyomi、Arai Kyosuke、Ohira Hideki、Yamaguchi Yuhei、Yamada Hitoshi	４．巻 19
２．論文標題 Effect of Indoor Forest Bathing on Reducing Feelings of Fatigue Using Cerebral Activity as an Indicator	５．発行年 2022年
３．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	６．最初と最後の頁 6672～6672
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph19116672	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 Suga, A., Naruto, Y., Maulina, V. V. R., Uraguchi, M., Ozaki, Y., & Ohira, H.	４．巻 12(1)
２．論文標題 Mothers’ interoceptive sensibility mediates affective interaction between mother and infant.	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Scientific Reports,	６．最初と最後の頁 10850
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Tamura Kaho、Kobayashi Yoshinari、Ohira Hideki	４．巻 12
２．論文標題 Interoceptive Accuracy Did Not Affect Moral Decision-Making, but Affect Regret Rating for One’s Moral Choices	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Frontiers in Psychology	６．最初と最後の頁 746897
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2021.746897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Ueno, D., Ohira, H., & Narumoto, J.	4．巻 16
2．論文標題 Interoception and the autonomic nervous system: Investigating affect, decision-making, and mental health	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6．最初と最後の頁 646240
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fnins.2022.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Tian, J., Hieida, C., Yoshimoto, J., Kimura, K., Ohira, H., & Ikeda, K.	4．巻 2
2．論文標題 A study for the exploration-exploitation strategy of human based on restless two-armed bandit task.	5．発行年 2022年
3．雑誌名 情報処理学会第84回全国大会講演論文集	6．最初と最後の頁 07-1-07-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11309/ipsjjip.84.0_07	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H.	4．巻 16
2．論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task.	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6．最初と最後の頁 793461
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fnins.2022.793461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H.	4．巻 16(3)
2．論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6．最初と最後の頁 846583
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fnins.2022.846583	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Maulina, V. V. R., Yogo, M., & Ohira, H.	4．巻 13
2．論文標題 Somatic Symptoms: Association Among Affective State, Subjective Body Perception, and Spiritual Belief in Japan and Indonesia	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 829183
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2022.829183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 9.5
2．論文標題 Is word length inaccurate for authorship attribution?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/llc/fqac067	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 15
2．論文標題 A review on authorship attribution in text mining	5．発行年 2022年
3．雑誌名 WIREs Computational Statistics	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/wics.1584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 柳 燁佳，金 明哲	4．巻 11(1)
2．論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析	5．発行年 2022年
3．雑誌名 データ分析の理論と応用	6．最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 中川拓哉	4．巻 6
2．論文標題 「文学者としての従軍報告――岸田國士『北支物情』・『従軍五十日』から――」	5．発行年 2023年
3．雑誌名 名古屋大学人文学研究論集	6．最初と最後の頁 155-174
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 葉柳和則	4．巻 38
2．論文標題 全体主義に抗する全体主義？ -オーストリア併合前夜におけるフィリップ・エッターの社会-文化構想	5．発行年 2022年
3．雑誌名 独文学報	6．最初と最後の頁 29-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 山本哲也、山下裕子	4．巻 30（2）
2．論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用：仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア	5．発行年 2023年
3．雑誌名 産業ストレス研究	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	4．巻 20
2．論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan	5．発行年 2023年
3．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6．最初と最後の頁 3871～3871
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph20053871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Takai Shigeyuki、Hasegawa Akira、Shigematsu Jun、Yamamoto Tetsuya	4．巻 1-13
2．論文標題 Do people who highly value happiness tend to ruminate?	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Current Psychology	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s12144-022-04131-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Machado Sergio、Teixeira Diogo、Monteiro Diogo、Imperatori Claudio、Murillo-Rodriguez Eric、da Silva Rocha Fernanda Pereira、Yamamoto Tetsuya、Amatriain-Fernandez Sandra、Budde Henning、Carta Mauro Giovanni、Caixeta Leonardo、de Sa Filho Alberto Souza	4．巻 22
2．論文標題 Clinical applications of exercise in Parkinson’s disease: what we need to know?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Expert Review of Neurotherapeutics	6．最初と最後の頁 771～780
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/14737175.2022.2128768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Ramella-Zampa Benedetta、Carbone Giuseppe Alessio、Panno Angelo、Santos Matheus、Imperatori Claudio、Budde Henning、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Machado Sergio	4．巻 2
2．論文標題 Understanding and conceptualizing eSports among behavioural addictions: A brief overview of the literature.	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Emerging Trends in Drugs, Addictions, and Health	6．最初と最後の頁 100048～100048
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.etdah.2022.100048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Yamashita Yuko、Yamamoto Tetsuya	4．巻 -
2．論文標題 Virtual Reality Heals My Reality: The Effect of Virtual Reality Self-Counseling with the Intimate Other Avatar	5．発行年 2022年
3．雑誌名 PsyArXiv	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.31234/osf.io/fcda8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Massullo Chiara、Bersani Francesco Saverio、Carbone Giuseppe Alessio、Panno Angelo、Farina Benedetto、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Machado Sergio、Budde Henning、Imperatori Claudio	4．巻 81
2．論文標題 Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLORETA Study	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Neuropsychobiology	6．最初と最後の頁 286～295
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1159/000521565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Hasegawa Akira、Oura Shin-ichi、Yamamoto Tetsuya、Kunisato Yoshihiko、Fukui Yoshikazu	4．巻 1-23
2．論文標題 Preliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s10942-022-00469-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Sugaya Nagisa、Murillo-Rodriguez Eric、Machado Sergio、Imperatori Claudio、Budde Henning	4．巻 12
2．論文標題 Mental health and social isolation under repeated mild lockdowns in Japan	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Scientific Reports	6．最初と最後の頁 8452:1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-022-12420-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也	4．巻 48
2．論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題	5．発行年 2022年
3．雑誌名 認知行動療法研究	6．最初と最後の頁 135-144
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24468/jjbct.20-043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Shinya SHIGEMI	4．巻 -
2．論文標題 L'Aspect humaniste dans les Mots et les choses de Michel Foucault autour du schema du quadrilatere classique	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Les defis de l'humanisme litteraire, sous la direction de Huguette KRIEF	6．最初と最後の頁 225-235
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 重見　晋也	4．巻 40
2．論文標題 「サドの読者フーコー」	5．発行年 2021年
3．雑誌名 『広島大学フランス文学研究』	6．最初と最後の頁 41-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 葉柳和則	4．巻 8
2．論文標題 ファシズムとは違うかたちで：教皇の社会教説とフィリップ・エッターの思想	5．発行年 2022年
3．雑誌名 多文化社会研究（長崎大学多文化社会学研究科）	6．最初と最後の頁 183-204
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 葉柳和則	4．巻 36/37
2．論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛：スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に	5．発行年 2021年
3．雑誌名 独文学報（大阪大学ドイツ文学会）	6．最初と最後の頁 27－49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 0
2．論文標題 A review on authorship attribution in text mining	5．発行年 2022年
3．雑誌名 WIREs Computational Statistics	6．最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/wics.1584	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 0
2．論文標題 Improving the Performance of Feature Selection Methods with Low-Sample-Size Data	5．発行年 2022年
3．雑誌名 The Computer Journal	6．最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/comjnl/bxac033	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 李広微，金明哲．	4．巻 0
2．論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析	5．発行年 2021年
3．雑誌名 計量国語学	6．最初と最後の頁 180-181
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 許 麗梦、金 明哲	4．巻 10
2．論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析	5．発行年 2021年
3．雑誌名 データ分析の理論と応用	6．最初と最後の頁 45～57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.32146/bdajcs.10.45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 LI Guangwei、JIN Mingzhe	4．巻 31
2．論文標題 Modeling Analysis of Diachronic Changes in Auxiliary Words in Novels	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Joho Chishiki Gakkaishi	6．最初と最後の頁 371～383
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2964/jsik_2021_019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Y. CHEN, W. ZHENG, M. JIN	4．巻 62(3)
2．論文標題 The Effectiveness of the Maximal Information Coefficients in Real-World Classification Tasks	5．発行年 2021年
3．雑誌名 THE HARRIS SCIENCE REVIEW OF DOSHISHA UNIVERSITY	6．最初と最後の頁 149-156
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Tamura Kaho、Kobayashi Yoshinari、Ohira Hideki	4．巻 12
2．論文標題 Interoceptive Accuracy Did Not Affect Moral Decision-Making, but Affect Regret Rating for One's Moral Choices	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 746897
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2021.746897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Maulina Venie Viktoria Rondang、Yogo Masao、Ohira Hideki	4．巻 13
2．論文標題 Somatic Symptoms: Association Among Affective State, Subjective Body Perception, and Spiritual Belief in Japan and Indonesia	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 851888
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2022.851888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Oba Takeyuki、Katahira Kentaro、Ohira Hideki	4．巻 11
2．論文標題 A learning mechanism shaping risk preferences and a preliminary test of its relationship with psychopathic traits	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Scientific Reports	6．最初と最後の頁 20853
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-021-00358-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 大平英樹	4．巻 40
2．論文標題 内臓感覚に基づく感情科学とロボットの設計	5．発行年 2021年
3．雑誌名 日本ロボット学会誌	6．最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 大平英樹	4．巻 64
2．論文標題 予測する脳の機能調整：マインドフルネスの効果―藤野，高橋・荻島，牟田・木甲斐論文へのコメント―	5．発行年 2021年
3．雑誌名 心理学評論	6．最初と最後の頁 344-353
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa	4．巻 22
2．論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Brain, Behavior, & Immunity - Health	6．最初と最後の頁 100448～100448
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.bbih.2022.100448	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	4．巻 8
2．論文標題 The Transition of Social Isolation and Related Psychological Factors in 2 Mild Lockdown Periods During the COVID-19 Pandemic in Japan: Longitudinal Survey Study	5．発行年 2022年
3．雑誌名 JMIR Public Health and Surveillance	6．最初と最後の頁 e32694～e32694
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2196/32694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 国里愛彦，山本哲也	4．巻 64
2．論文標題 マインドフルネス研究の未来を切り開く新たな方法論	5．発行年 2021年
3．雑誌名 心理学評論	6．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Hasegawa Akira、Oura Shin-ichi、Yamamoto Tetsuya、Kunisato Yoshihiko、Matsuda Yuko、Adachi Masaki	4．巻 2
2．論文標題 Causes and consequences of stress generation: Longitudinal associations of negative events, aggressive behaviors, rumination, and depressive symptoms	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Current Psychology	6．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s12144-022-02859-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Massullo Chiara、Bersani Francesco Saverio、Carbone Giuseppe Alessio、Panno Angelo、Farina Benedetto、Murillo-Rodr?guez Eric、Yamamoto Tetsuya、Machado S?rgio、Budde Henning、Imperatori Claudio	4．巻 2
2．論文標題 Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLORETA Study	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Neuropsychobiology	6．最初と最後の頁 1～10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1159/000521565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 横光健吾，高階光梨，山本哲也	4．巻 0
2．論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法の基礎と課題	5．発行年 2022年
3．雑誌名 認知行動療法研究	6．最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 山本 哲也、吉本 潤一郎	4．巻 48
2．論文標題 機械学習アプローチの臨床応用?デジタル革新がもたらすメンタルヘルスケアの新たな形?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 認知行動療法研究	6．最初と最後の頁 23～33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24468/jjbct.20-040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 淺川凌，山本哲也	4．巻 29
2．論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040	5．発行年 2021年
3．雑誌名 淺川凌，山本哲也	6．最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	4．巻 18
2．論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey	5．発行年 2021年
3．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6．最初と最後の頁 13318～13318
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph182413318	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Yamashita Yuko、Yamamoto Tetsuya	4．巻 12
2．論文標題 Perceiving Positive Facial Expression Can Relieve Depressive Moods: The Effect of Emotional Contagion on Mood in People With Subthreshold Depression	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 535980:1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2021.535980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Murillo‐Rodr?guez Eric、Arankowsky‐Sandoval Gloria、Budde Henning、Imperatori Claudio、Machado S?rgio、Yamamoto Tetsuya、Yadollahpour Ali、Torterolo Pablo	4．巻 54
2．論文標題 In vivo brain levels of acetylcholine and 5‐hydroxytryptamine after oleoylethanolamide or palmitoylethanolamide administrations are mediated by PPARα engagement	5．発行年 2021年
3．雑誌名 European Journal of Neuroscience	6．最初と最後の頁 5932～5950
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/ejn.15409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 Coronado-?lvarez Astrid、Romero-Cordero Karen、Mac?as-Triana Lorena、Tatum-Kuri Agnes、Vera-Barr?n Alba、Budde Henning、Machado S?rgio、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Murillo-Rodr?guez Eric	4．巻 110
2．論文標題 The synthetic CB1 cannabinoid receptor selective agonists: Putative medical uses and their legalization	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry	6．最初と最後の頁 110301～110301
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.pnpbp.2021.110301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 Murillo-Rodr?guez Eric、Mill?n-Aldaco Diana、Arankowsky-Sandoval Gloria、Yamamoto Tetsuya、Pertwee Roger G.、Parker Linda、Mechoulam Raphael	4．巻 3
2．論文標題 Assessing the treatment of cannabidiolic acid methyl ester: a stable synthetic analogue of cannabidiolic acid on c-Fos and NeuN expression in the hypothalamus of rats	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Journal of Cannabis Research	6．最初と最後の頁 31:1-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s42238-021-00081-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	4．巻 11
2．論文標題 Social isolation and its psychosocial factors in mild lockdown for the COVID-19 pandemic: a cross-sectional survey of the Japanese population	5．発行年 2021年
3．雑誌名 BMJ Open	6．最初と最後の頁 e048380～e048380
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1136/bmjopen-2020-048380	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Hasegawa Akira、Matsumoto Noboru、Yamashita Yuko、Tanaka Keisuke、Kawaguchi Jun、Yamamoto Tetsuya	4．巻 86
2．論文標題 Correction to: Response inhibition deficits are positively associated with trait rumination, but attentional inhibition deficits are not: aggressive behaviors and interpersonal stressors as mediators	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Psychological Research	6．最初と最後の頁 858-870,
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s00426-021-01582-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Quiroga Carla、Barberena Juan Jos?、Alcaraz-Silva Jocelyne、Machado S?rgio、Imperatori Claudio、Yadollahpour Ali、Budde Henning、Yamamoto Tetsuya、Telles-Correia Diogo、Murillo-Rodr?guez Eric	4．巻 21
2．論文標題 The Role of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor in Addiction: A Novel Drug Target	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Current Topics in Medicinal Chemistry	6．最初と最後の頁 964～975
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2174/1568026621666210521165532	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa	4．巻 18
2．論文標題 Effects of Interoceptive Sensibility on Mental Health during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic	5．発行年 2021年
3．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6．最初と最後の頁 4616～4616
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph18094616	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 中村 靖子	4．巻 5
2．論文標題 感情を創成する--文学と歴史--	5．発行年 2020年
3．雑誌名 エモーション・スタディーズ	6．最初と最後の頁 74～84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20797/ems.5.1_74	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Ohira Hideki	4．巻 29
2．論文標題 Predictive Processing ofInteroception, Decision-Making, and Allostasis	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Psihologijske teme	6．最初と最後の頁 1～16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.31820/pt.29.1.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 大平 英樹	4．巻 5
2．論文標題 文化と歴史における感情の共構成	5．発行年 2020年
3．雑誌名 エモーション・スタディーズ	6．最初と最後の頁 4～15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20797/ems.5.1_4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 中川 拓哉	4．巻 5
2．論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能??	5．発行年 2020年
3．雑誌名 エモーション・スタディーズ	6．最初と最後の頁 85～94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20797/ems.5.1_85	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 大平英樹	4．巻 20
2．論文標題 ソマティック・マーカー	5．発行年 2020年
3．雑誌名 臨床心理学	6．最初と最後の頁 249-253
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 大平英樹	4．巻 63
2．論文標題 意味と感情の予測的処理：中山論文へのコメント	5．発行年 2020年
3．雑誌名 心理学評論	6．最初と最後の頁 44+54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 大平 英樹	4．巻 36
2．論文標題 感情と意思決定を創発する予測的処理	5．発行年 2021年
3．雑誌名 人工知能	6．最初と最後の頁 21～27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11517/jjsai.36.1_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Imai Kazunori、Masuda Michihito、Watanabe Hirohisa、Ogura Aya、Ohdake Reiko、Tanaka Yasuhiro、Kato Toshiyasu、Kawabata Kazuya、Riku Yuichi、Hara Kazuhiro、Nakamura Ryoichi、Atsuta Naoki、Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen	4．巻 7
2．論文標題 The neural network basis of altered decision‐making in patients with amyotrophic lateral sclerosis	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology	6．最初と最後の頁 2115～2126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/acn3.51185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Yohsuke Ohtsubo, Masahiro Matsunaga, Toshiyuki Himichi, Kohta Suzuki, Eiji Shibata, Reiko Hori, Tomohiro Umemura, Hideki Ohira	4．巻 15
2．論文標題 Role of the Orbitofrontal Cortex in the Computation of Relationship Value	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Social Neuroscience	6．最初と最後の頁 600-612
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/17470919.2020.1828164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 李 広微，金 明哲	4．巻 32(8)
2．論文標題 『明暗』と『続明暗』のトピック変化の計量分析	5．発行年 2021年
3．雑誌名 計量国語学	6．最初と最後の頁 496-505
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 [2]X. Liu, M. Jin	4．巻 2
2．論文標題 OUP accepted manuscript	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	6．最初と最後の頁 qab029
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/llc/fqab029	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 [3]黄 善玉，金 明哲	4．巻 30(3)
2．論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別	5．発行年 2020年
3．雑誌名 情報知識学会誌	6．最初と最後の頁 390-400
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 [4]柳 燁佳，金 明哲	4．巻 9(1)
2．論文標題 菊池寛「受難華」の代筆問題の研究	5．発行年 2020年
3．雑誌名 データ分析の理論と応用	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 金 明哲，鄭　弯弯	4．巻 32(5)
2．論文標題 テキストコーパスマイニングツールMTMineR	5．発行年 2020年
3．雑誌名 計量国語学	6．最初と最後の頁 265-276
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 1
2．論文標題 The Effects of Class Imbalance and Training Data Size on Classifier Learning: An Empirical Study	5．発行年 2020年
3．雑誌名 SN Computer Science	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s42979-020-0074-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	4．巻 35
2．論文標題 Comparing multiple categories of feature selection methods for text classification	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	6．最初と最後の頁 208-224
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/llc/fqz003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Tetsuya Yamamoto, Henning Budde	4．巻 1297
2．論文標題 Natural Cannabinoids as Templates for Sleep Disturbances Treatments	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Advances in Experimental Medicine and Biology	6．最初と最後の頁 133-141
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/978-3-030-61663-2_9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 Amatriain-Fern?ndez Sandra、Budde Henning、Gronwald Thomas、Quiroga Carla、Carre?n Cristina、Viana-Torre Gerardo、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Machado S?rgio、Murillo-Rodr?guez Eric	4．巻 19
2．論文標題 The Endocannabinoid System as Modulator of Exercise Benefits in Mental Health	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Current Neuropharmacology	6．最初と最後の頁 --
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2174/1570159X19666201218112748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 Tetsuya Yamamoto, Chigusa Uchiumi, Naho Suzuki, Junichiro Yoshimoto, Eric Murillo-Rodriguez	4．巻 17(24)
2．論文標題 The Psychological Impact of ‘Mild Lockdown’ in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency	5．発行年 2020年
3．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6．最初と最後の頁 9382
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph17249382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto, Diogo Monteiro, Henning Budde, Nuno Barbosa Rocha, Luis Cid, Diogo S. Teixeira, Diogo Telles-Correia, Andre Barciela Veras, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Pablo Torterolo	4．巻 4(2)
2．論文標題 Assessing the Management of Excessive Daytime Sleepiness by Napping Beneits	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Sleep and Vigilance	6．最初と最後の頁 117-123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 Nagisa Sugaya, Tetsuya Yamamoto, Naho Suzuki, Chigusa Uchiumi	4．巻 7
2．論文標題 A real-time survey on the psychological impact of mild lockdown for COVID-19 in the Japanese population	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Scientific Data	6．最初と最後の頁 372
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 S? Filho Alberto Souza、Miranda Thiago Gottgtroy、de Paula Carolina Cavalcante、Barsanulfo Silvio Roberto、Teixeira Diogo、Monteiro Diogo、Cid Luis、Imperatori Claudio、Yamamoto Tetsuya、Murillo-Rodriguez Eric、Amatriain Fern?ndez Sandra、Budde Henning、Machado Sergio	4．巻 11
2．論文標題 COVID-19 and Quarantine: Expanding Understanding of How to Stay Physically Active at Home	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 566032
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2020.566032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Scartoni Fabiana Rodrigues、Sant’Ana Leandro de Oliveira、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Budde Henning、Vianna Jeferson Macedo、Machado Sergio	4．巻 11
2．論文標題 Physical Exercise and Immune System in the Elderly: Implications and Importance in COVID-19 Pandemic Period	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 --
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2020.593903	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric	4．巻 17
2．論文標題 The Psychological Impact of ‘Mild Lockdown’ in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency	5．発行年 2020年
3．雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6．最初と最後の頁 9382～9382
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph17249382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Hasegawa Akira、Matsumoto Noboru、Yamashita Yuko、Tanaka Keisuke、Kawaguchi Jun、Yamamoto Tetsuya	4．巻 62
2．論文標題 Do shorter inter‐stimulus intervals in the go/no‐go task enable better assessment of response inhibition?	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Scandinavian Journal of Psychology	6．最初と最後の頁 118～124
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/sjop.12679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 S? Filho Alberto Souza、Cheniaux Elie、de Paula Carolina Cavalcante、Murillo-Rodriguez Eric、Teixeira Diogo、Monteiro Diogo、Cid Luis、Yamamoto Tetsuya、Telles-Correia Diogo、Imperatori Claudio、Budde Henning、Machado Sergio	4．巻 20
2．論文標題 Exercise is medicine: a new perspective for health promotion in bipolar disorder	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Expert Review of Neurotherapeutics	6．最初と最後の頁 1099～1107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/14737175.2020.1807329	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric	4．巻 2020.07.17
2．論文標題 The psychological impact of ‘mild lockdown’ in Japan during the COVID-19 pandemic: a nationwide survey under a declared state of emergency	5．発行年 2020年
3．雑誌名 medRxiv	6．最初と最後の頁 --
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1101/2020.07.17.20156125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Machado Sergio、Monteiro Diogo、Mout?o Jo?o、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Paes Fl?via、Cid Luis、De Lima Jo?o Lucas Maciel	4．巻 12(1)
2．論文標題 Physical Exercise and Geriatric Depression: An Opinion	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Revista Psicologia e Sa?de	6．最初と最後の頁 115～126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20435/pssa.v12i1.807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 重見晋也	4．巻 39
2．論文標題 第2次世界大戦期フランス南部地域における検閲の現実 ローヌ県リヨン都市圏文書館収蔵の資料182W 147について―	5．発行年 2020年
3．雑誌名 広島大学フランス文学研究	6．最初と最後の頁 36-54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15027/50741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 中村靖子	4．巻 3
2．論文標題 『マルテの手記』をテキストマイニングする！―リルケ散文の計量的分析を用いた相補的研究の試み―	5．発行年 2020年
3．雑誌名 人文学研究論集	6．最初と最後の頁 39、63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H.	4．巻 9
2．論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Scientific Reports,	6．最初と最後の頁 9-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-019-56204-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H	4．巻 15
2．論文標題 Costly group apology communicates a group’s sincere “intention.”	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Social Neuroscience,	6．最初と最後の頁 244-255
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/17470919.2019.1697745	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Ohira, H	4．巻 15
2．論文標題 Predictive processing of interoception, decision-making, and allostasis: A computational framework and implications for emotional intelligence	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Psychological Topics,	6．最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.31820/pt.29.1.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Liu, X., & Jin, M	4．巻 47
2．論文標題 Classification analysis of Kouji Uno’s novels using topic model	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Behaviormetrika	6．最初と最後の頁 189-212
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 入江さやか・金明哲	4．巻 18
2．論文標題 コーパスを用いた仮定形音融合使用に関する計量的研究	5．発行年 2020年
3．雑誌名 国立国語研究所 論集	6．最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 中川拓哉	4．巻 3
2．論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈――『国民の誓』に見る国際映画の終焉	5．発行年 2020年
3．雑誌名 人文学フォーラム	6．最初と最後の頁 97-111
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計83件（うち招待講演　32件／うち国際学会　18件）

1．発表者名 中村靖子
2．発表標題 「人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う」研究活動報告
3．学会等名 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業シンポジウム「未来社会を見据えた 人文学・社会科学分野における 学術知共創の課題について」（招待講演）
4．発表年 2022年

1．発表者名 中村靖子
2．発表標題 未来の人文学
3．学会等名 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業シンポジウム「未来社会を見据えた 人文学・社会科学分野における 学術知共創の課題について」（招待講演）
4．発表年 2022年

1．発表者名 池野絢子
2．発表標題 「変身の系譜ー現代芸術にみる人間と動物のあいだ」
3．学会等名 シンポジウム「どこまでが動物なのか？：人文学から考える」、ヒトと動物の関係学会 第 29 回学術大会（招待講演）
4．発表年 2023年

1．発表者名 加藤 樹里，長滝 祥司，大平 英樹，柏端 達也，金野 武司，柴田 正良，橋本 敬，三浦 俊彦
2．発表標題 道徳的行為者となり得る3条件をシナリオで操作したロボットに対する道徳的判断の検討
3．学会等名 2022年度日本認知科学会39回大会
4．発表年 2022年

１．発表者名 Hideki Ohira
２．発表標題 Emergence of emotion and decision-making based on predictive processing of interoception: Implications for emotional intelligence
３．学会等名 International Conference on Emotional Intelligence 2022（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 Hideki Ohira
２．発表標題 Affective decision-making based on interoceptive predictive processing: Implications for clinical issues
３．学会等名 NTTR Webinar (online)（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 Hideki Ohira
２．発表標題 Predictive processing of interoception as a base of mentality:Implications for morality
３．学会等名 International Meeting on Robo-Ethics and Philosophy（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚と意思決定の関連とそれに伴うフィーリング
３．学会等名 生理学研究所社会認知科学研究会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 自律神経と意思決定
３．学会等名 第75回日本自律神経学会総会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 神田 泰誠，柳燁佳，金 明哲．
２．発表標題 著者推定における事前学習済みBERTを用いたアンサンブル学習法の提案
３．学会等名 信学技報(電子情報通信学会)，
４．発表年 2022年

１．発表者名 大脇 彩夏，金 明哲
２．発表標題 会話コーパスを用いた性別による発話特徴の分析
３．学会等名 日本行動計量学会第50回大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 柳 燁佳，金 明哲
２．発表標題 ジャンルにロバストな著者識別用特徴量 CA n-gram の提案
３．学会等名 日本行動計量学会第50回大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 鄭 弯弯，金 明哲
２．発表標題 著者識別において単語の長さの精度が低いなのか
３．学会等名 日本行動計量学会第50回大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 神田 泰誠，柳 燁佳，金 明哲．
２．発表標題 著者推定における異なる事前学習データを持つ日本語版BERTの性能比較分析，
３．学会等名 日本行動計量学会第50回大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 李 広微，金 明哲
２．発表標題 テキストアナリティクスに基づく小説『明暗』の続編に関する比較分析
３．学会等名 日本行動計量学会第50回大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 金　明哲
２．発表標題 Stylometryから連想する計量的表現研究
３．学会等名 表現学会第59回全国大会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 葉柳和則
２．発表標題 全体主義に抗する全体主義？-第二次世界大戦勃発期のスイスにおける社会構想
３．学会等名 日本国際文化学会第21回全国大会
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 AI・ICTを活用した行動科学と社会実装
３．学会等名 行動科学学会 第38回ウィンターカンファレンス2023（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 ウェルビーイングの向上に寄与する人工知能技術と情報通信技術の活用
３．学会等名 SOMPOインスティチュート・プラス 未来アカデミー（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 デジタルマインドフルネス ―瞑想の実践を支援するテクノロジーの活用―
３．学会等名 日本マインドフルネス学会 第９回大会 シンポジウムII「脳の変化からマインドフルネスを理解する」（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 事例で学ぶ論文投稿と査読対応のABC
３．学会等名 日本健康心理学会第35回大会，日本健康心理学会機関誌編集委企画シンポジウム「論文投稿と審査過程における留意点 ー日本健康心理学会における論文投稿に関する情報共有と活性化を目指してー」
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也，吉本潤一郎
２．発表標題 認知行動療法における機械学習アプローチ
３．学会等名 日本認知・行動療法学会第48回大会 ワークショップ(WS7)（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 よりよく生きるための人工知能技術と情報通信技術の活用
３．学会等名 第６回行動科学セミナー（国立がん研究センターがん対策研究所）（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情報通信技術を活用した臨床心理学的アプローチの実際
３．学会等名 一般社団法人 公認心理師の会 2022年度年次総会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 人工知能技術と情報通信技術を活用した認知・感情・創造性の拡張
３．学会等名 日本心理学会第86回大会，大会公募シンポジウム「情報科学とロボット工学が拓く発達・知覚・臨床心理学の新たな学術領域」
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 成人の発達障害の理解と対応
３．学会等名 精神科臨床薬学研究会(PCP)ブロック講演会 in KINKI（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 SHIGEMI Shinya
２．発表標題 Les lectures des oeuvres de Sade par Roland Barthes et par Michel Foucault
３．学会等名 Roland Barthes　a l’ecoute du contemporain（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 池野絢子
２．発表標題 「20世紀初頭のイタリア芸術における複数の時間経験」
３．学会等名 「蜘蛛と箒」企画オンライン特別講座（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 葉柳和則
２．発表標題 労働力を呼びよせたのに、やってくるのは人間だ：マックス・フリッシュにおける「異他的なもの」の排除
３．学会等名 日本独文学会西日本支部，第73回総会・研究発表会
４．発表年 2021年

１．発表者名 李 広微，金 明哲．
２．発表標題 現代小説における文末表現の通時変化についての計量分析
３．学会等名 行動計量学会第49回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 神田　泰誠，金明哲，鳥海不二夫
２．発表標題 Twitterにおける新型コロナ関連のトピックと感情変化の計量分析
３．学会等名 行動計量学会第49回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 耕三寺花蓮，金明哲
２．発表標題 定性的データ分析から見る点前の流派間の特徴
３．学会等名 行動計量学会第49回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 柳 燁佳，金 明哲
２．発表標題 品詞活用形情報に着目した日本語文章の著者推定
３．学会等名 行動計量学会第49回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚の予測的処理に基づく感情と意思決定の創発ー遺伝要因と環境要因の寄与ー
３．学会等名 内受容感覚の予測的処理に基づく感情と意思決定の創発ー遺伝要因と環境要因の寄与ー（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 コロナ禍に起因する自粛生活が心身の健康にもたらす影響 ―計４回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究―
３．学会等名 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター 第21回パネル調査カンファレンス（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 お茶で人生100年時代を豊かに生きる知恵 ～感染症時代のストレス対処術と“茶の効用”～
３．学会等名 伊藤園健康フォーラム（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況で生じる希死念慮の予測因子の同定 ～計４回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究～
３．学会等名 第28回日本行動医学会学術総会（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 仮想世界における体験があなたの悩みを改善する ―VR 技術を活用したセルフカウンセリングの効果―
３．学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 緊急事態宣言下における内受容感覚の鋭敏さの男女差が精神的健康に与える影響
３．学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に起因する反復的・持続的な自粛生活が心身の健康にもたらす影響 ―緊急事態宣言下における大規模オンライン縦断調査―
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 抑制機能の2下位分類と反すうの関連 ―反応抑制と注意の抑制の比較―
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 親密他者の視点取得を活用したVRセルフカウンセリングの効果
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 新型コロナウイルス感染症のパンデミック下における内受容感覚の鋭敏さが精神的健康に与える影響
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 テキストマイニングと機械学習の活用は文学作品の考察を深化させる
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情報通信技術・人工知能技術の進歩と心理学
３．学会等名 日本心理学会第85回大会
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 Clinical Psychoinformatics Approaches for Improving Quality of Life（英語）
３．学会等名 日米先端工学(JAFOE)シンポジウム（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 A clinical psychoinformatics approach for detection of recurrence patterns in recovered depression（英語）
３．学会等名 The 32nd International Congress of Psychology, Prague（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 中川拓哉
２．発表標題 アルプスをめぐる文化戦--戦間期劇映画におけるアルプス表象のドイツ・スイス比較--
３．学会等名 日本国際文化学会第20回全国大会、オンライン開催
４．発表年 2021年

１．発表者名 中川拓哉
２．発表標題 オリンピックと「国民」――映画『国民の誓』(1938)を例に」（共通論題「オリンピックと政治宣伝――1930 年代の事例を中心に――
３．学会等名 日本国際文化学会第20回全国大会、オンライン開催
４．発表年 2021年

１．発表者名 Sazuka, N., Katsumata, K., Komoriya, Y., Ezaki, T., & Ohira, H.
２．発表標題 Slow EEG fluctuation reflecting behavioral changes by cognitive load.
３．学会等名 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 感情の合理性とその障害
３．学会等名 精神医学の哲学研究会（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚の予測的処理と感情及び意思決定の創発
３．学会等名 電子情報技術産業協会第5回感性のセンシング・フィードバック技術分科会（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚と意味概念に基づく社会的感情の創発
３．学会等名 第10回社会神経科学研究会（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚と意味概念による高次感情の創発
３．学会等名 感情とAI　冬のワークショップ（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 計算論的精神医学と内受容感覚
３．学会等名 第20回日本認知療法学会・認知行動療法学会（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 脳・身体・心は常に動く
３．学会等名 日本生理心理学会（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Sazuka, N., Komoriya, Y., Ezaki, T., Oba, T., & Ohira, H.
２．発表標題 Human affective-states estimation by a model of meta-level patterns of EEG.
３．学会等名 2020 Annual conference of the Society for Affective Science（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Suga, A., Naruto, Y., Venie Viktoria Rondang Maulina, Uraguchi, M., Sasaki, T., Ozaki, Y., & Ohira, H.
２．発表標題 Effects of increased interoceptive awareness on postpartum depression and emotional states: An experience sampling study using smartphone photoplethysmography.
３．学会等名 2020 Annual conference of the Society for Affective Science（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 機械学習の臨床応用ー心の脆弱性を理解するー
３．学会等名 徳島大学研究クラスターシンポジウム 脳・心・運動×機械学習・AI（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情報通信技術を活用して心身の問題を解決する
３．学会等名 2020年度第12回脳科学クラスター・ミニリトリート
４．発表年 2021年

１．発表者名 山本哲也，内海千種，鈴木菜穂，菅谷渚，吉本潤一郎，Eric Murillo-Rodriguez
２．発表標題 緊急事態宣言下におけるメンタルヘルスの実態と危険因子・保護因子の解明
３．学会等名 第27回日本行動医学会学術総会抄録集
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情報技術を活用したwithコロナ時代の心理臨床実践
３．学会等名 日本心理学会第84回大会，大会公募シンポジウム
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情報技術を活用した心性の可視化・予測・制御
３．学会等名 『予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-』研究集会
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 緊急事態宣言下における日本国民のメンタルヘルスの特徴
３．学会等名 「言説と情動」研究会
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 情動を可視化・予測する心理情報学的アプローチ
３．学会等名 『言説を動かす情動とファシズムの変貌：テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析』第３回研究集会
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 機械学習アプローチ
３．学会等名 日本認知・行動療法学会第46回大会，自主企画シンポジウム「認知行動療法研究の新時代を切り開く研究法」
４．発表年 2020年

１．発表者名 山本哲也
２．発表標題 認知行動療法に寄与する心理情報学的アプローチの展開
３．学会等名 日本認知・行動療法学会第46回大会，自主企画シンポジウム「臨床心理情報学―臨床実践と研究に活かす情報技術―」
４．発表年 2020年

１．発表者名 W. Zheng and M. Jin
２．発表標題 A fast class noise detector with multi-factor-based learning"
３．学会等名 9th International Conference on Computational Data and Social Networks（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 池野絢子
２．発表標題 彫刻の死、彫刻の母胎――アルトゥーロ・マルティーニと古代文明の再解釈
３．学会等名 研究会「20世紀イタリアの芸術と文化」
４．発表年 2020年

１．発表者名 重見晋也
２．発表標題 Hypertexte et Humanisme;, Seminaire l ’ Encyclopedie et l ’ hermeneutique
３．学会等名 College international de Philosophie（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 中村靖子
２．発表標題 次元を拓くー文学と感情ー
３．学会等名 日本認知科学会第36回大会 オーガナイズド・セッション（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 内受容感覚の予測的符号化による感情と意思決定の創発
３．学会等名 日本認知科学会第36回大会 オーガナイズド・セッション
４．発表年 2019年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 深層学習・人工知能・認知モデリングー心理学・認知神経科学の立場からー
３．学会等名 日本認知科学会第36回大会プログラム委員会企画シンポジウム（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 神経系・内分泌系・免疫系のクロストークを実現する予測的処理
３．学会等名 日本行動科学学会・日本心理学会連携企画シンポジウム（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 大平英樹
２．発表標題 予兆にもとづく意思決定
３．学会等名 名古屋大学予兆学シンポジウムYOCHOU2019（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Li, G., & Jin, M
２．発表標題 Diachronic changes of sentence-final expression in modern Japanese novels
３．学会等名 International Conference on Language and Literature 2020（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Sun, H & Jin, M
２．発表標題 Ghostwriting analysis using outlier detection methods
３．学会等名 International Conference on Language and Literature 2020（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Sun, H., & Jin, M
２．発表標題 Quantitative analysis of writing style problem in Yasunari Kawabata's novels
３．学会等名 Global Digital Humanities Symposium（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Sun, H., & Jin, M
２．発表標題 Improving the performance of Japanese authorship attribution with phonetic related information
３．学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Liu, X., & Jin, M
２．発表標題 A corpus-based approach to explore the stylistic peculiarity of Kouji Uno's postwar work
３．学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies,（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Oshiro, N., Irie, S., & Jin, M
２．発表標題 Quantitative analysis of phonological structure used in dialects in Osamu Dazai's works
３．学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies,（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Piao, J., & Jin, M.
２．発表標題 Multi-loss CNN architecture for image classification
３．学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies,（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 葉柳和則
２．発表標題 軍艦島のグローカリティ―意味づけの政治を軸に
３．学会等名 長崎大学・国際基督教大学共同研究シンポジウム「平和の翼と波を広げる ―現在・過去・未来―」
４．発表年 2019年

〔図書〕　計22件

１．著者名 中村靖子	４．発行年 2022年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 450
３．書名 予測と創発	

１．著者名 池野絢子	４．発行年 2022年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 32
３．書名 予測と創発：分担執筆「第6章 失われた芸術作品の再構築ークルト・シュヴィッタースの《メルツバウ》をめぐって」	

１．著者名 山本哲也	４．発行年 2022年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 25
３．書名 予測と創発：分担執筆:第10章 私を理解し表現する人工知能	

１．著者名 大平英樹	４．発行年 2022年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 54
３．書名 予測と創発：分担執筆「第11章　予測により創発される心性」	

１．著者名 池野絢子	４．発行年 2022年
２．出版社 京都芸術大学 東北芸術工科大学出版局 藝術学舎	５．総ページ数 32
３．書名 『芸術学入門ー美術鑑賞の基本 』（分担執筆：「芸術鑑賞３ 西洋美術・ルネサンス編」、「芸術鑑賞４ 西洋美術・近現代編」）	

1．著者名 大平英樹	4．発行年 2022年
2．出版社 東京大学出版会	5．総ページ数 38
3．書名 認知科学講座4　心をとらえるフレームワークの展開（分担執筆：認知科学講座4　心をとらえるフレームワークの展開）	

1．著者名 A・D・（バド） クレイグ、花本 知子、大平 英樹	4．発行年 2022年
2．出版社 青灯社	5．総ページ数 756
3．書名 我感ずる、ゆえに我あり	

1．著者名 波多野 賢治、天笠 俊之、鈴木 優、宮崎 純、楠 和馬、金明哲（総監修）	4．発行年 2022年
2．出版社 岩波書店	5．総ページ数 242
3．書名 テキストデータマネジメント	

1．著者名 金明哲、中村靖子、上阪 彩香， 土山 玄 ， 孫 昊 ， 劉 雪琴 ， 李 広微 ， 入江 さやか	4．発行年 2021年
2．出版社 岩波書店	5．総ページ数 248
3．書名 文学と言語コーパスのマイニング	

１．著者名 池野絢子、分担執筆	４．発行年 2022年
２．出版社 書肆九十九	５．総ページ数 608
３．書名 『彫刻２――彫刻、死語/新しい彫刻』	

１．著者名 HIdeki, Ohira Mladenka TMladenka Tkalcc i Marko Toncic	４．発行年 2022年
２．出版社 0	５．総ページ数 305
３．書名 Conversation between the brain and the intestine: What happens when the intestines become nervous?: A look at the irritable bowel syndrome from a biopsychosocial perspective	

１．著者名 山本哲也（分担執筆）	４．発行年 2022年
２．出版社 全国社会福祉協議会	５．総ページ数 324
３．書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援	

１．著者名 山本哲也（分担執筆）	４．発行年 2021年
２．出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research	５．総ページ数 286
３．書名 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research	

１．著者名 葉柳和則	４．発行年 2021年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 380
３．書名 ナチスと闘った劇場	

１．著者名 中村靖子	４．発行年 2021年
２．出版社 春風社	５．総ページ数 56
３．書名 ナチスと闘った劇場（分担執筆：第3章「アルカディア」というプロジェクションー『テル』の変奏、第6章「メーリケを愛する殺戮者ー『ほら、また歌っている』における批判の理路	

１．著者名 金 明哲	４．発行年 2021年
２．出版社 岩波書店	５．総ページ数 340
３．書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	

１．著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修)	４．発行年 2020年
２．出版社 岩波書店	５．総ページ数 286
３．書名 テキストマイニングの基礎技術と応用	

１．著者名 和泉 潔、坂地 泰紀、松島 裕康、金明哲(監修)	４．発行年 2021年
２．出版社 岩波書店	５．総ページ数 172
３．書名 金融・経済分析のためのテキストマイニング	

１．著者名 木俣元一、松井裕美、池野絢子	４．発行年 2021年
２．出版社 中央公論美術出版	５．総ページ数 312
３．書名 古典主義再考Ⅱ　前衛美術と「古典」	

１．著者名 池野絢子他	４．発行年 2020年
２．出版社 引込線／放射線パブリケーションズ	５．総ページ数 159
３．書名 政治の展覧会：世界大戦と前衛芸術	

１．著者名 アブドゥルラッハマン・ギュルベヤズ、葉柳和則、森 元斎	４．発行年 2021年
２．出版社 松本工房.	５．総ページ数 191
３．書名 多文化社会学解体新書--21世紀の人文・社会科学入門	

１．著者名 苧阪直行 / 菊知 充 / 大平英樹 / 髙橋英彦 / 松井三枝 / 今水 寛 / 大木 紫、 前田貴記 / 村田 哲 / 山極 壽一	４．発行年 2020年
２．出版社 日本学術協力財団	５．総ページ数 203
３．書名 社会脳から心を探る　自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム	

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	大平　英樹 (Ohira HIdeki) (90221837)	名古屋大学・情報学研究科・教授 (13901)	
研究分担者	金　明哲 (Jin Mingzhe) (60275469)	同志社大学・文化情報学部・教授 (34310)	
研究分担者	池野　絢子 (Ikeno Ayako) (80748393)	青山学院大学・文学部・准教授 (32601)	
研究分担者	重見　晋也 (Shigemi Shinnya) (40303573)	名古屋大学・人文学研究科・准教授 (13901)	
研究分担者	葉柳　和則 (Hayanagi Kazunori) (70332856)	長崎大学・多文化社会学部・教授 (17301)	

６．研究組織（つづき）

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	山本　哲也 (Yamamoto Tetsuya) (60779396)	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部（社会総合科学域）・准教授 (16101)	
研究分担者	中川　拓哉 (Nakagawa Takuya) (10829906)	名古屋大学・人文学研究科・博士研究員 (13901)	

７．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

８．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関